

需要動向調査

報告書

令和3年12月

香春町商工会

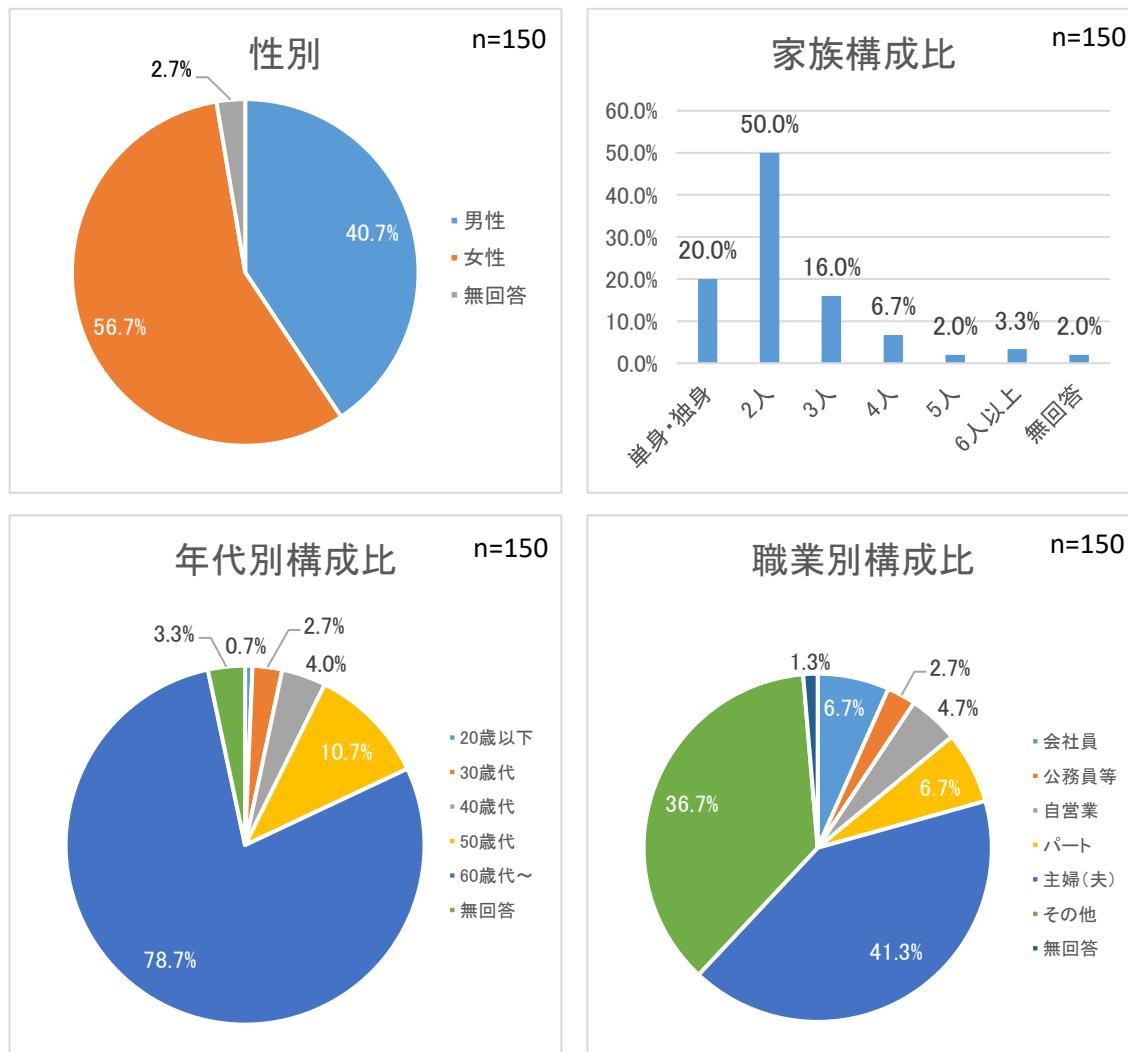
令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

目次

1. プレミアム商品券利用者アンケート調査結果	1
2. プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果	2
3. 町丁字別の需要動向	4

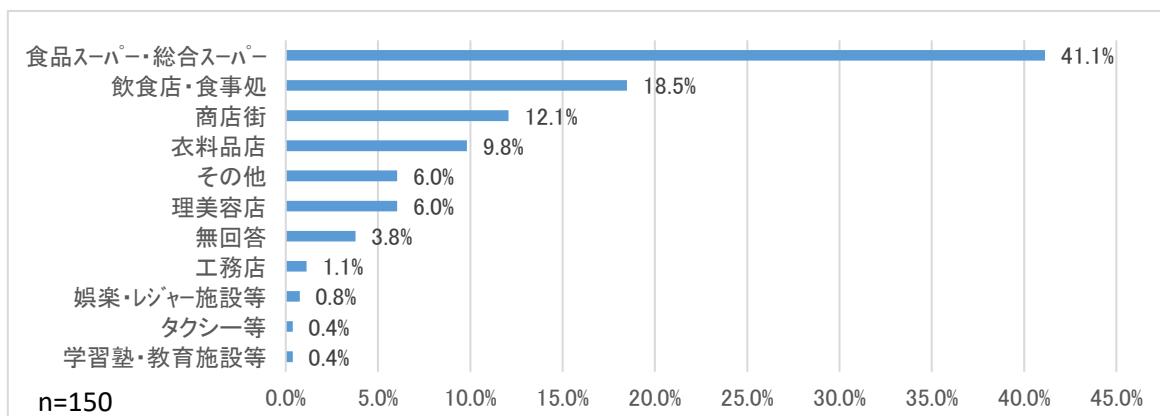
1. プレミアム商品券利用者アンケート調査結果

(1) 回答者の属性



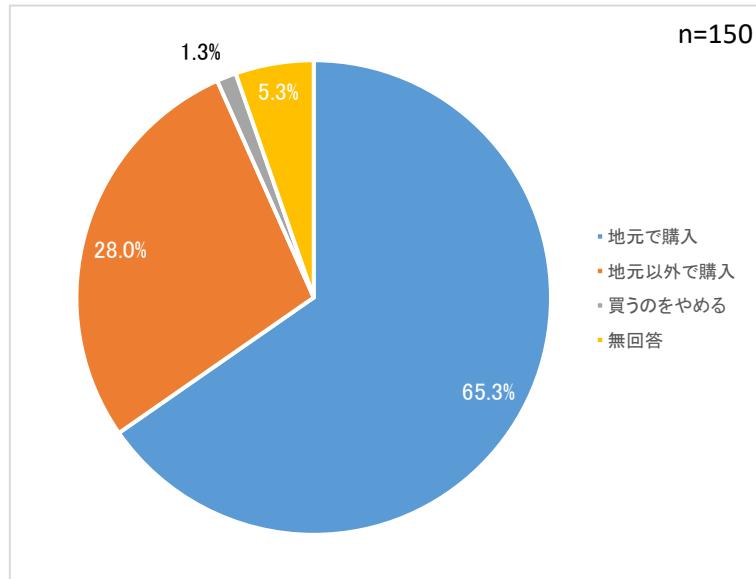
プレミアム商品券の利用者について、単身・独身または2人の世帯が70%を占めており、更に60歳以上が約80%であることから1～2名の高齢世帯に多く利用されていると推測される。また、購入者の約4割が主婦であることから、日々の生活にプレミアム商品券が利用されていることが推察される。

(2) プレミアム商品券を利用した業種



昨年と比較して食品スーパー・総合スーパーでの利用が半減したが、飲食店での利用が1.8倍となり、他の業種での利用も伸びている。

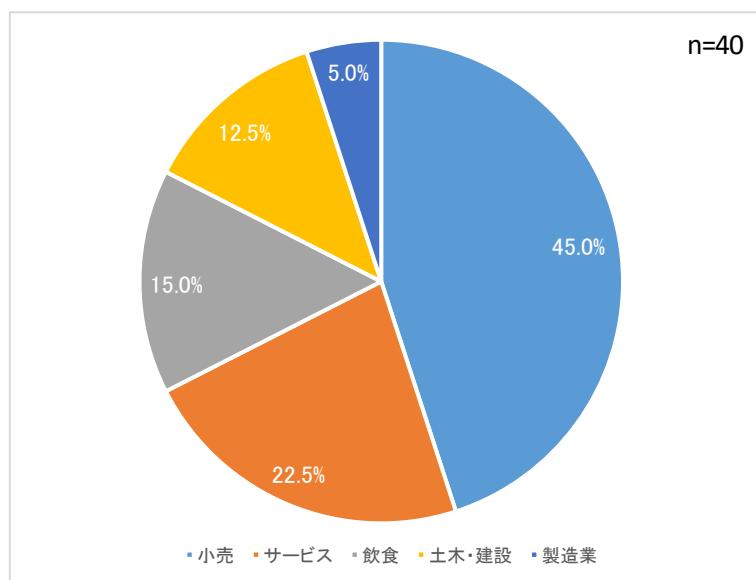
(3) プレミアム商品券がなかった場合の消費行動



商品券がない場合の消費行動として「地元以外で購入する」を回答した人が28%おり、今回のプレミアム商品券で地域外への流出をある程度食い止められたことが推測される。

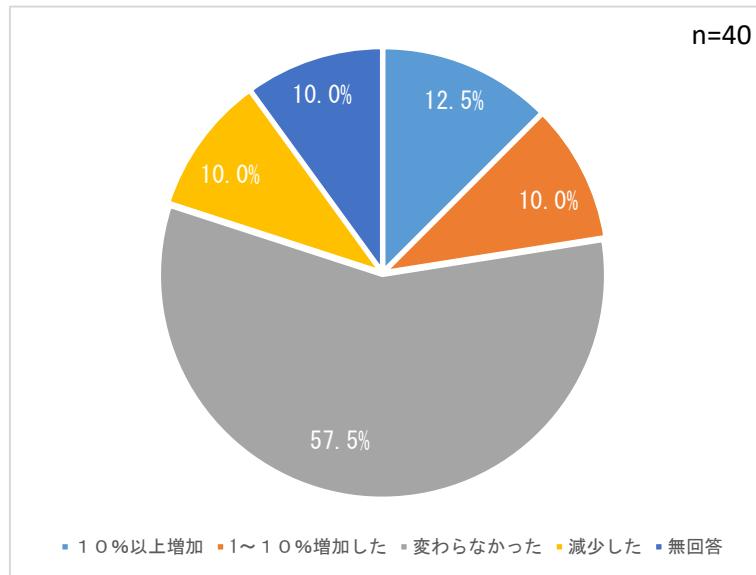
2. プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果

(1) 取扱店の業種構成



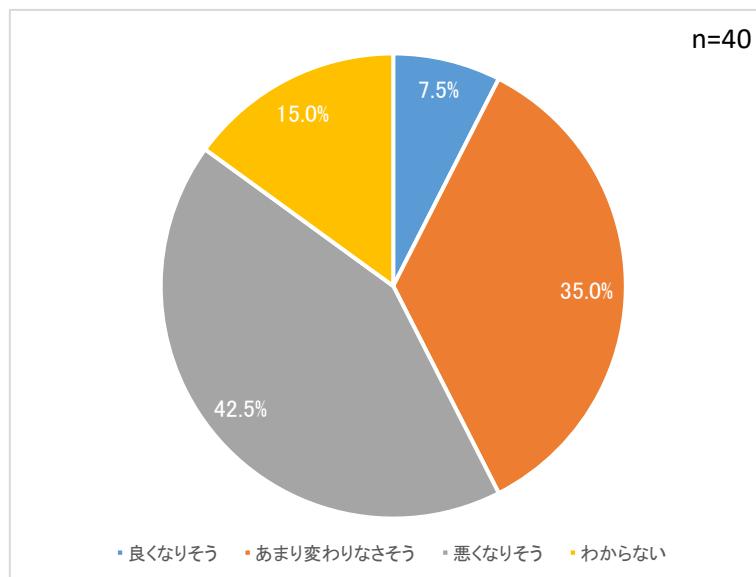
昨年は「小売」が30%強であったのが本年は45%へ増加し、代わりに「サービス業」がその分減少している。「飲食業」「土木・建築業」「製造業」に関しては例年通りであった。

(2) プレミアム商品券販売前と比較した売上の変化



「売上が10%以上増加」「1~10%増加した」店舗が昨年より増加して2割強となった。僅かではあるがプレミアム商品券が地域内での売上増に貢献したと考えられる。

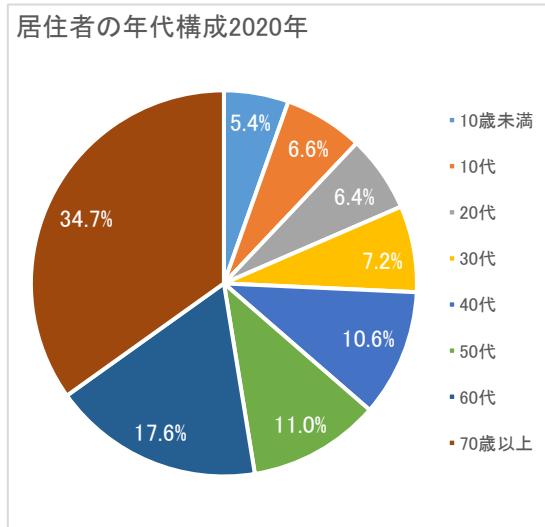
(3) 今後の売上の見通し



「あまり変わりなさそう」と回答した事業者が昨年より減少した一方、「悪くなりそう」と回答した事業者が10%以上増加している。

3. 町丁字別の需要動向

(1) 大字採銅所



香春町全体の指標との比較（採銅所／香春町）

19歳以下の人口 : 12.0%/15.0%

60歳未満の人口 : 47.7%/52.1%

60歳以上の人口 : 52.3%/47.9%

70歳以上の人口 : 34.7%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	48.93	58.56	50.73	39.76	43.31	46.97	48.04
水準判定	=	++	=	--	-	-	=

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

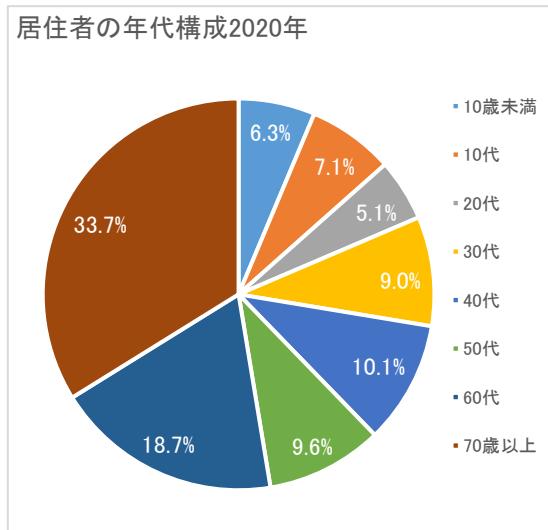
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	50.14
	果物	50.21
住居費	設備修繕・維持費	50.20
	設備材料	50.17
家具・家事用品	家事サービス	50.11
保健医療関連	医療品	50.12
	健康保持用摂取品	50.27
教養娯楽	切り花	50.28
	園芸用品	50.28
	書籍	50.10

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履き物	子供用洋服	48.96
	子供用シャツ・セーター	48.85
保健医療関連	コンタクトレンズ	49.08
教育費		49.15
	授業料	49.12
	教科書・参考書	49.22
	補習教育	49.25
	幼児・小学校補習教育	48.95
教養娯楽	テレビゲーム機	48.91
	玩具	49.09

【特徴】大字採銅所の消費動向の特徴としては、それぞれの消費支出項目の偏差値に高低が少なく、町内平均に近い状態であるが、「切り花」や「園芸用品」への支出が多く、「教育費」や子供用の「被服」や「履き物」への支出が少ないのは、60歳以上人口が半数以上を占めていることが要因として考えられる。

(2) 大字香春



香春町全体の指標との比較（香春／香春町）

19歳以下の人口 : 13.4%/15.0%

60歳未満の人口 : 47.6%/52.1%

60歳以上の人口 : 52.4%/47.9%

70歳以上の人口 : 33.7%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	52.40	50.95	53.59	59.01	44.31	47.41	51.23
水準判定	=	=	+	++	-	-	=

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

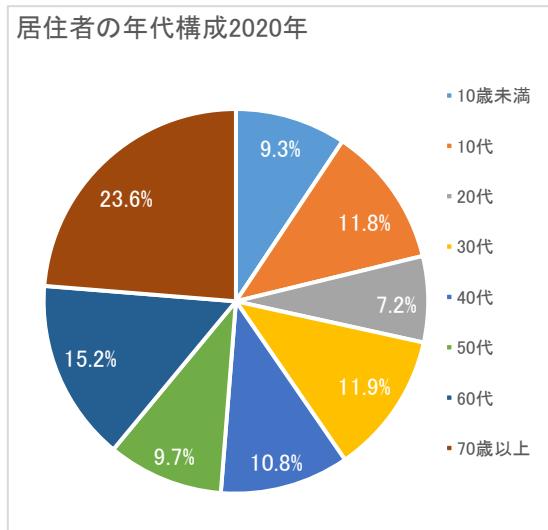
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	51.24
	果物	51.32
住居費	設備材料	51.32
家具・家事用品	家事サービス	51.19
被服・履き物	生地・糸類	51.19
保健医療関連	医療品	51.19
	健康保持用摂取品	51.32
教養娯楽	切り花	51.37
	園芸用品	51.43
	パック旅行	51.20

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
住居費	地代家賃	50.36
保健医療関連	コンタクトレンズ	49.89
教育費		49.67
	授業料	49.67
	教科書・参考書	49.73
	補習教育	49.67
	幼児・小学校補習教育	49.86
	中学校補習教育	49.67
	高校補習教育・予備校	49.49
教養娯楽	テレビゲーム機	50.07

【特徴】大字香春の消費動向の特徴としては、全般的に極端に消費支出の偏差が低いものが少ないが、「切り花」や「園芸用品」への支出が多く、「教育費」への支出が少ないので、60歳以上人口が半数以上を占めていることが要因として考えられる。

(3) 大字高野



香春町全体の指標との比較（高野／香春町）

19歳以下の人口 : 21.1%/15.0%

60歳未満の人口 : 61.2%/52.1%

60歳以上の人口 : 38.8%/47.9%

70歳以上の人口 : 23.6%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	47.85	42.39	47.02	54.05	61.32	55.49	51.35
水準判定	=	-	-	+	++	+	=

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

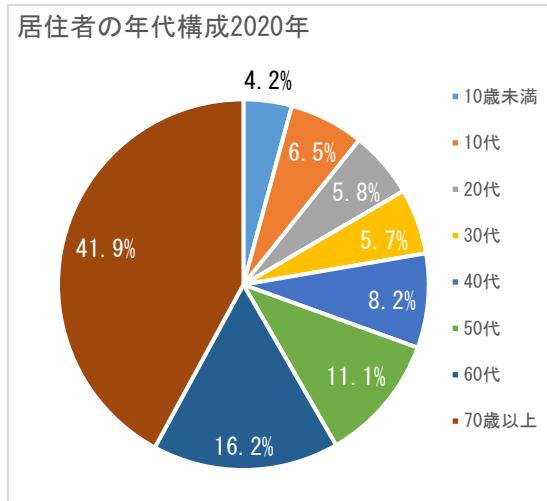
分類	細目	偏差値
被服及び履き物	子供用洋服	48.45
	子供用シャツ・セーター	48.67
保健医療関連	コンタクトレンズ	48.14
教育費		47.95
	授業料等	47.97
	教科書・学習参考教材	47.88
	補習教育	47.86
	幼児・小学校補習教育	48.54
教養娯楽	テレビゲーム機	48.59
	玩具	48.19

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	46.15
	果物	46.04
住居費	設備修繕・維持費	46.01
	設備材料	46.07
家具・家事用品	家事サービス	46.20
保健医療関連	医療品	46.20
	健康保持用摂取品	45.92
教養娯楽	切り花	45.89
	園芸用品	45.91
	書籍	46.23

【特徴】大字高野の消費動向の特徴としては、全ての分類において町内平均を下回っており、購買力が弱いことがうかがえる。年代構成では60歳未満の世代が60%以上を占めており、支出偏差値の高い分類が子供関連のものとなっている。

(4) 大字鏡山



香春町全体の指標との比較（鏡山／香春町）

19歳以下の人口：10.7%/15.0%

60歳未満の人口：41.9%/52.1%

60歳以上の人口：58.1%/47.9%

70歳以上の人口：41.9%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	42.09	61.43	40.71	60.62	42.50	63.64	51.83
水準判定	-	++	--	++	-	++	=

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

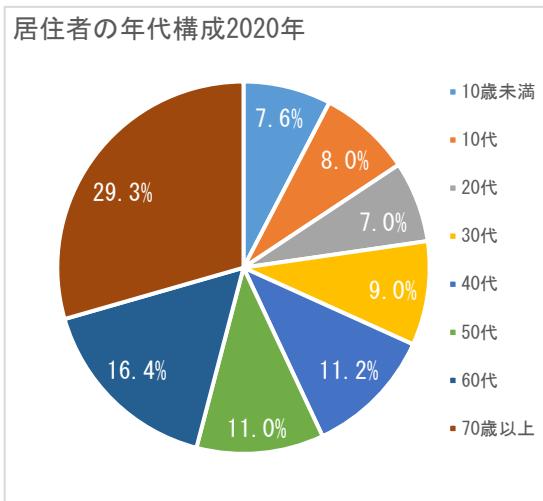
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	42.11
	果物	42.18
住居費	設備修繕・維持費	42.15
	設備材料	42.12
家具・家事用品	家事サービス	42.09
保健医療関連	医療品	42.10
	健康保持用摂取品	42.25
教養娯楽	切り花	42.23
	園芸用品	42.22
	書籍	42.09

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履き物	子供用洋服	41.24
	子供用シャツ・セーター	41.18
保健医療関連	コンタクトレンズ	41.38
教育費		41.44
	授業料	41.43
	教科書・参考書	41.44
	補習教育	41.47
	幼児・小学校補習教育	41.23
教養娯楽	テレビゲーム機	41.29
	玩具	41.34

【特徴】大字鏡山の消費動向の特徴としては、全体的に町内平均を大きく下回っており。特に購買力が低いことがうかがえる。また、町丁内の「安定」「流入」及び「成長」が高いことから、食料品や生活必需品に関する需要が増加すると考えられる。

(5) 大字中津原



香春町全体の指標との比較（中津原／香春町）

19歳以下の人口 : 15.6%/15.0%

60歳未満の人口 : 54.3%/52.1%

60歳以上の人口 : 45.7%/47.9%

70歳以上の人口 : 29.3%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	68.18	39.16	67.17	46.12	64.23	44.00	54.81
水準判定	++	--	++	-	++	-	+

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、-平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

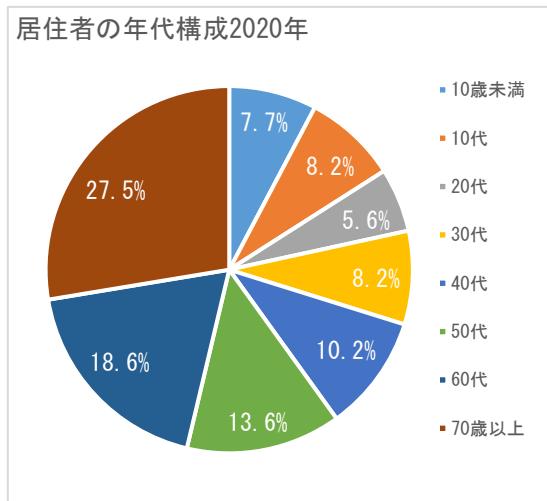
分類	細目	偏差値
住居費	家賃地代	68.97
被服及び履き物	男子用洋服	69.00
保健医療関連	コンタクトレンズ	69.08
教育費	授業料	69.17
	教科書・参考書	69.14
	補習教育	69.16
	幼児・小学校補習教育	69.03
	中学校補習教育	69.15
	高校補習教育・予備校	69.26
教養娯楽	パソコン・テレビゲーム機	68.97

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	68.74
	果物	68.71
住居費	設備修繕・維持費	68.71
	設備材料	68.72
家具・家事用品	家事サービス	68.76
被服及び履物	生地・生糸	68.76
保健医療関連	医薬品	68.76
	健康保持用摂取品	68.70
教養娯楽	切り花	68.69
	園芸用品	68.66

【特徴】大字中津原の消費動向の特徴としては、消費支出の偏差値が町内平均を大幅に超えており、最低の分類においても偏差値 68 を超えている。年代構成では 60 歳未満の世代が 50% 以上を占めており、支出偏差値の高い分類のほとんどが子供関連のものとなっている。

(6) 大字柿下



香春町全体の指標との比較（柿下／香春町）

19歳以下の人口 : 15.9%/15.0%

60歳未満の人口 : 53.9%/52.1%

60歳以上の人口 : 46.1%/47.9%

70歳以上の人口 : 27.5%/30.9%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	40.55	47.52	40.78	40.43	44.34	42.48	42.68
水準判定	--	=	--	--	-	-	-

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、=平均水準、-やや低水準、--低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履き物	男子用洋服	42.16
保健医療関連	コンタクトレンズ	42.42
教育費		42.63
	授業料	42.64
	教科書・参考書	42.57
	補習教育	42.59
	幼児・小学校補習教育	42.40
	中学校補習教育	42.56
	高校補習教育・予備校	42.82
教養娯楽	テレビゲーム機	42.17

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	41.61
	果物	41.55
住居費	設備修繕・維持費	41.61
	設備材料	41.61
家具・家事用品	家事サービス	41.85
被服及び履き物	生地・糸類	41.63
	医療品	41.64
保健医療関連	健康保持用摂取品	41.53
教養娯楽	切り花	41.54
	園芸用品	41.50

【特徴】大字柿下の消費動向の特徴としては、全ての分類において町内平均を下回っており、購買力が弱いことがうかがえる。60歳未満の年代が50%以上であることを反映して「教育費」「テレビゲーム」など、子供関連の支出が上位を占める反面、「食料品」や「住居費」などの支出が低くなっている。

【まとめ】町内6地域のうち消費購買力の高い地域が1つ（大字中津原）、町内平均が2つ（大字採銅所・大字香春）、平均以下が3つ（大字高野・大字鏡山・大字柿下）となっており、分野別水準判定の「富裕」の偏差値がそのまま購買力に現れている。

<参考レポート> 市場情報評価ナビ MieNa 商圏レポート（マーケット分析編）

需要動向調査

報告書

令和3年12月

香春町商工会

福岡県田川郡香春町大字香春 751 番地

電話 0947-32-2070

FAX 0947-32-7397